

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33506	環境デザイン Environmental Design	古橋 敬一		基礎	1	選択	1.2後期
科目の概要							
<p>「環境デザイン」とは、私たちの身の回りに存在するモノや建築、都市の街並みといった環境をデザインすること、または、それらの環境に配慮したデザインのことです。その対象は幅広く、インテリアから建築、風景、都市の計画から施工、さらにはプロデュースやコミュニケーションまでを含みます。この講義では、そうした幅広い概念の全体像を理解することを入りに、より身近な暮らしや地域の生活環境をデザインする重要性について学びます。講義の中で登場する基本的な知識を理解し、それらを活用することで、実際の環境デザインを読み解く力（＝課題解決力）を養います。また、講義におけるセッションや議論に積極的に参加することを遠して社会人基礎力を身につけることを目指します。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① 環境デザインの概要について理解する。 ② 身近な暮らしや生活環境をデザインする重要性を学ぶ。 ③ 身の回りの環境における不都合な問題についてデザインで対応する方法を学ぶ。</p>				<p>① 環境デザインの概要について理解を深めることができる。 ② 身近な暮らしや生活環境をデザインする重要性を説明することができる。 ③ 身の回りの環境における不都合な問題にたいして解決策をデザインできる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自分の考えを持つ。授業以外の時間を使い、自分で課題について調べてきたことを記述できる。課題をやり遂げるために必要な知識について、文献等を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力	目標への到達を目指す際に、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。					
	実行力	把握した情報に基づいて計画を実行することができる。					
考え抜く力	課題発見力	現状の調査分析を行う。					
	計画力	調査分析に基づき計画する。					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなく色々な方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	受講中、自らの疑念を質問し、また自身の考えをまとめ発言できる。					
	傾聴力	グループワークで人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。					
	状況把握力	入念な調査により現状を把握する。					
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：未定。 必要に応じてプリントを配布する。</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>他科目との関連：インテリアユニットとの関連が期待できる。 資格との関連：特になし。</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
日常生活に関わる新聞記事や雑誌に目を通し、街中において気になるデザインに目を配り、観察しておくことよい。				① 授業で配布する資料は原則、受講生の人数分のみを用意するので、保管には十分、注意する。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓	到達目標の①環境デザインの概要についての理解は深まっているか ②身近な暮らしや生活環境をデザインする重要性を説明できる③身の回りの環境における不都合な問題にたいして解決策をデザインできるかに対応して、基本概念や語句の理解、洞察力を試す問題を出題し評価する。 (傾聴力、課題発見力、創造力)		
				②	✓			
				③	✓			
	学修成果	小テスト		0	①			
					②			
					③			
		平常評価	レポート		20	①	✓	授業の理解度についてどれくらい学習内容を説明できるか評価する。
						②		
③								
平常評価		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①			
					②			
	③				✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	(主体性) 積極的に授業に参加し、課題を発見するとともに、それに基づき制作することができる。 (課題発見力) 調査内容の検証や議論により課題を発見することができる。 (創造力) さらに良いものにするための提案ができる。 (発信力) 自身のデザインの良さ、社会への貢献度を分かりやすくプレゼンテーションできる。 (実行力) 課題を発見し、議論を形にできる。 (傾聴力) 人の発表など、メモをとるなど積極的に聴く。 (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に行進するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
				②	✓			
				③	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業態度に積極性が認められる。筆記試験で、授業要点を8割以上理解し、説明できる。自己の見解を論理的に記述することができる場合はA(優)とする。自己の見解に提言を含み、論理的に記述できる場合はS(秀)とする。	授業態度に規律性が認められる。レポートが提出されている。筆記試験で、授業要点を6割以上理解し、説明できる。自己の見解を付加することができる場合をB(良)とし、感想にとどまる場合はC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 環境デザインの概要について、その成り立ち、対象、範囲、背景について、総合的に学ぶ。	講義 環境デザインについて講義する。 質問に対してフィードバックする。	環境デザインの成り立ち、対象、範囲、背景について、総合的に把握し理解する。	環境デザインの成り立ち、対象、範囲、背景について、総合的に把握し理解し、説明できるようにする。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
2	環境デザインを「Design with Environment」と置き換えて考察し、私たちの問題としてとらえる視点人について学ぶ。	講義 環境デザインについて講義する。 質問に対してフィードバックする。	「Design with Environment」の意味を把握し、環境デザインが私たちの問題を対象とするアプローチであることを理解する。	「Design with Environment」の意味を把握し、環境デザインが私たちの問題を対象とするアプローチであることを理解し、説明できるようにする。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
3	無印良品の仕事を環境デザインの視点から読み解く。	講義 環境無印良品の仕事を環境デザインの視点から紹介し、講義する。 質問に対してフィードバックする。	無印良品の仕事を環境デザインの視点から理解する。	無印良品の仕事を環境デザインの視点から理解し、説明できるようにする。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
4	続・無印良品の仕事を環境デザインの視点から読み解く。	講義 環境無印良品の仕事を環境デザインの視点から紹介し、講義する。 質問に対してフィードバックする。	無印良品の仕事を環境デザインの視点から理解する。	無印良品の仕事を環境デザインの視点から理解し、説明できるようにする。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
5	ニュータウン問題を環境デザインの視点から読み解く。	講義 ニュータウン問題を環境デザインの視点から紹介し、講義する。 質問に対してフィードバックする。	ニュータウン問題を環境デザインの視点から理解する。	ニュータウン問題を環境デザインの視点から理解し、その構造を説明できるようにする。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
6	環境デザインの視点から暮らしのデザインの実践事例について学ぶ。	講義 環境デザインの視点から暮らしのデザインの実践事例について講義する。 質問に対してフィードバックする。	暮らしのデザインについて理解する。	暮らしのデザインについて理解し、説明できるようにする。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
7	持続可能なライフスタイル提案について、愛知万博での実践事例を通して学ぶ。	講義 持続可能なライフスタイル提案について、愛知万博での実践事例を紹介し、講義する。 質問に対してフィードバックする。	ライフスタイル提案の実施方法を理解する。	ライフスタイル提案の実施方法を理解し、説明できるようにする。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
8	コミュニティデザインにおける人間関係を構築する仕掛けについて学ぶ。	講義 コミュニティデザインについて講義する。 質問に対してフィードバックする。	人間関係を構築する仕掛けを理解する。	人間関係を構築する仕掛けを理解し、説明できるようにする。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	コミュニティデザインにおけるコンセプトワークとビジョン形成について学ぶ。	講義 コミュニティデザインについて講義する。 質問に対してフィードバックする。	コンセプトワークとビジョン形成について理解する。	コンセプトワークとビジョン形成について理解し、説明できるようにする	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
10	創造都市のデザインについて、創造的人材の参入をキーワードに、衰退から再生へのプロセスを学ぶ。	講義 創造都市のデザインについて講義する。 質問に対してフィードバックする。	創造的人材と都市再生の関係を理解する。	創造的人材と都市再生の関係を具体的な事例を通して理解する。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
11	続・創造都市のデザインについて、創造的人材の参入をキーワードに、衰退から再生へのプロセスを学ぶ。	講義 創造都市のデザインについて講義する。 質問に対してフィードバックする。	創造的人材と都市再生の関係を理解する。	創造的人材と都市再生の関係を具体的な事例を通して理解する。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
12	地域包括ケアをキーワードに環境デザインの視点から、人生の最後をどう迎えるかについて考察する。	講義 地域包括ケアについて講義する。 質問に対してフィードバックする。	地域包括ケアについて理解する	地域包括ケアについて理解し、自分、或いは身近な人の死と向き合うきっかけをつかむ。	90	働きかけ力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
13	現代社会におけるまちづくりについて環境デザインの視点から読み解く。	講義 まちづくりについて環境デザインの視点から講義する。 質問に対してフィードバックする。	まちづくりとの変遷を把握し、その意味や目的を理解する。	まちづくりとの変遷を把握し、その意味や目的を理解し、説明できるようにする。	90	働きかけ力 傾聴力 規律性
14	デザイン思考について、その特徴、プロセス、フレームワーク、事例を通して学ぶ。	講義 デザイン思考について講義する。 質問に対してフィードバックする。	デザイン思考について、その特徴、プロセス、フレームワークを理解する。	デザイン思考について、その特徴、プロセス、フレームワークを理解し、事例からの学びを自分の言葉で説明できるようにする。	90	働きかけ力 創造力 傾聴力 規律性
15	環境デザインの総括について、これまでの授業を振り返る。	講義 環境デザインの総括について講義する。 質問に対してフィードバックする。	ここまでの講義の一つ一つのトピックの有機的な接続について理解する。	プリントやノートを再読し、自己の考えをまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力